

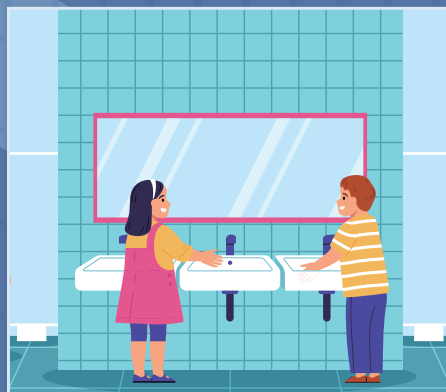
# 2024 BUSINESS REPORT

第73期 報告書 2023.04.01>>2024.03.31

## LIVZON



たてものを、  
いきものに



# 次の時代も選ばれる 「総合たてものサービス企業」へ

大成温調株式会社  
代表取締役 社長執行役員

水谷 憲一



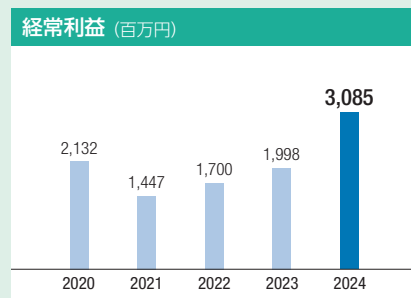
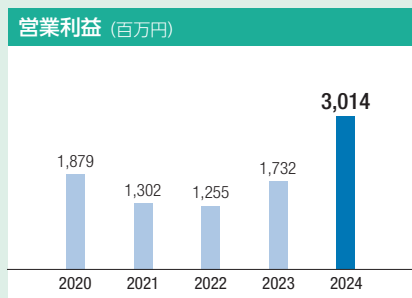
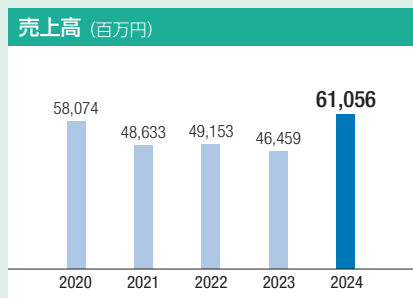
**Q** 当期の業績とその背景について  
お聞かせください。

**A** 2024年3月期におきましては、資材・機材および労務単価の上昇や人手不足の影響があったものの、建設需要の活性化で受注が堅調に推移し、単体・連結ともに増収増益となりました。売上高は前期比31.4%増の61,056百万円で、営業利益が同74.0%増の3,014百万円、経常利益が同54.4%増の3,085百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が同33.6%増の1,962百万円となっています。

国内では期初に豊富な手持工事を抱えていたことに加えて、受注時利益率が改善し、大型現場における原価も低減しました。海外では米国市場の好況に伴って開発計画の進捗が加速し、大型案件の工期も短縮。これらが業績拡大を牽引しました。

ただし、コストの高騰や人手不足に伴う人員配置の難しさは継続的な課題となっていますし、建設業の時間外労働上限規制への対応も求められています。働き方改革の推進と外部リソースの活用を軸に、さらなる収益性の改善と土台作りを進めてまいります。

## 連結財務ハイライト



## Q 中長期的にはどのような成長戦略を打ち立てていますか？

**A** 当社グループは創業80周年に当たる2021年度に、2030年度までの達成を目指した長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」を発表しました。当社を取り巻く環境の目まぐるしい変化に対応するには、自社グループ内においてワンストップで包括的な提案を行える体制をより強固にする必要があります。そこで、「専門設備工事会社」から「総合たてものサービス企業」への転換を図るとするのがその概要です。

「総合たてものサービス企業」とは、設備工事に強いという当社の専門性を生かし、「たてものを、いきものに」をコンセプトに、多様化するニーズに幅広い付加価値を提供する企業です。

この長期経営ビジョンの実現に向け、その前半戦に位置づけられる2025年までの中期経営計画として「LIVZON DREAM 2030 1st half !」を策定し、3年目が終了しました。基盤事業の深耕を推進し、得られた原資を「総合たてものサービス企業」を実現するために不可欠な投資に充てるというのがその概要です。

後半戦となる「LIVZON DREAM 2030 2nd half !」では、「総合たてものサービス企業」への飛躍が目標となります。具体的な戦略は現在検討中ですが、1st halfを経て新たに浮上した課題や環境の変化を踏まえ、目標とそのプロセスを明確にします。

詳細はP3-4をご覧ください。

## Q 株主還元および株主の皆さまにメッセージをお願いします。

**A** 当社は株主還元策をさらに充実させるという観点から、2024年3月期より連結純資産配当率(DOE)の目安を2.0%から3.0%に引き上げています。これに伴い、2024年3月期の配当額(普通株式)は1株当たり128円になりました。

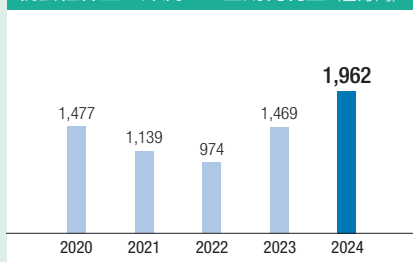
併せて当社株式の投資対象としての魅力を向上させ、より幅広い株主の皆さまに保有していただくことを目的として、株主優待制度の拡充も実施しています。株主還元は当社の重点施策と位置づけており、必要に応じて今後も見直しを図ります。

長期経営ビジョンで掲げた「総合たてものサービス企業」を目指し、これからも当社グループは一步ずつ前進してまいります。つきましては、中長期的な視点で当社の成長に期待していただけますと幸いです。当社の取り組みを詳しくご理解いただくためにも、今後はより積極的な情報発信に努めたいと考えております。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援の程、よろしくごお願い申し上げます。

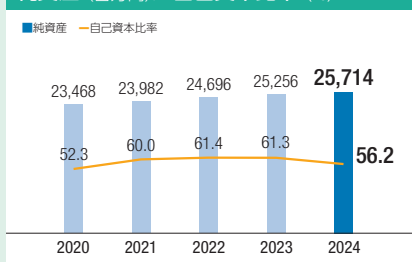
詳細は裏表紙をご覧ください。



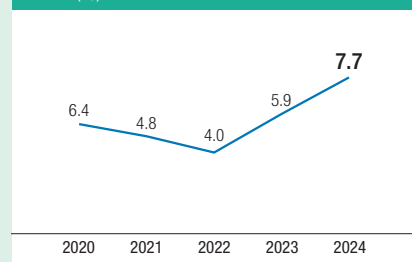
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



純資産 (百万円) / 自己資本比率 (%)



ROE (%)



## LIVZON DREAM 2030進捗

当社グループは、2030年までのありたい姿として長期経営ビジョン "LIVZON DREAM 2030"を策定しています。目指す姿である"総合たてものサービス企業"を実現するため、中期経営計画 "LIVZON DREAM 2030 1st half !"を実行しています。

当社グループの目指す姿 ➡ 「総合たてものサービス企業」

設備工事の持つ専門性を軸として、「たてものを、いきものに」をコンセプトに多様化する社会的ニーズに幅広い付加価値を提供する企業を目指す。

1st half!  
目標

中期経営計画 "LIVZON DREAM 2030 1st half!"

【コア事業の収益性改善】と【成長のための土台作り】

「LIVZON DREAM 2030 1st half !」は、長期経営ビジョンの前半戦と位置づけられ、コア事業の収益性改善と成長のための基盤作りに注力し、本業の利益拡大から生じる資金を用いて、「総合たてものサービス企業」への成長に必要な布石を打つ内容となります。基盤事業の深耕、成長への投資、経営基盤の整備という3つの基本方針の下、戦略を推進しており、当期においては基盤事業の深耕の取り組みである業務改革プロジェクトにおいて一定の効果があり、大幅な増収増益となりました。経営指標(KPI)においても前年度を上回る結果となり順調に推移しています。引き続き計画達成に向け邁進してまいります。

KPI	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2021~2025年度 (目標)
営業利益率	2.6%	3.7%	4.9%	5.0%以上
ROE (自己資本当期純利益率)	4.0%	5.9%	7.7%	8.0%以上
EPS (1株当たり当期純利益)	151.99円	246.01円	335.66円	250円以上
DOE (連結純資産配当率)	2.0%	2.0%	3.0%	2.5% +自社株買い

基本  
方針

1

## 基盤事業の深耕

2

## 成長への投資

3

## 経営基盤の整備

2023年度  
取り組み

## ▶ 2024年問題への対応

- ・人材の確保
- ・現場支援部門(工務統括部)の新設
- ・ベトナムでのオフショアエンジニアリングの拡大

▶ 新たなデジタル経営インフラ  
[LIVZON サイバープラット  
フォーム]の構築

- ▶ DOE3.0%に引き上げ
- ▶ 中間配当の導入
- ▶ 自己株式の取得
- ▶ 戦略的優待拡充の実施

TOPIC 基盤事業の深耕

## 2024年問題への対応

## 人材の確保

就労環境改善の一環として、2024年4月から定年年齢を60歳から65歳に引き上げることを決定しました。この措置は、雇用環境の変化への対応と、企業競争力の向上を図るために行われるものです。また、再雇用制度も70歳まで導入し、人的資本への投資を行いながら、ESGの取り組みに力を入れる方針を示しています。

現場支援部門  
(工務統括部)の新設

建設業界への時間外労働の上限規制の適用開始や現場従事者の働き方改革など、人的資本経営の実現に向けた取り組みとして、技術本部に工務統括部を新設し、現場従事者のサポートを強化します。

ベトナムでのオフショア  
エンジニアリングの拡大

当社は、2017年に設立した「TOP ENGINEERING VIETNAM COMPANY LIMITED」(以下、TEVC)に業務のアウトソーシングをしております。TEVCは、日本の設計・積算業務等を支援し、ベトナムにおけるオフショアエンジニアリング部門を拡大しています。これにより、国内の人手不足問題の解消に貢献し、生産性の向上を図っています。

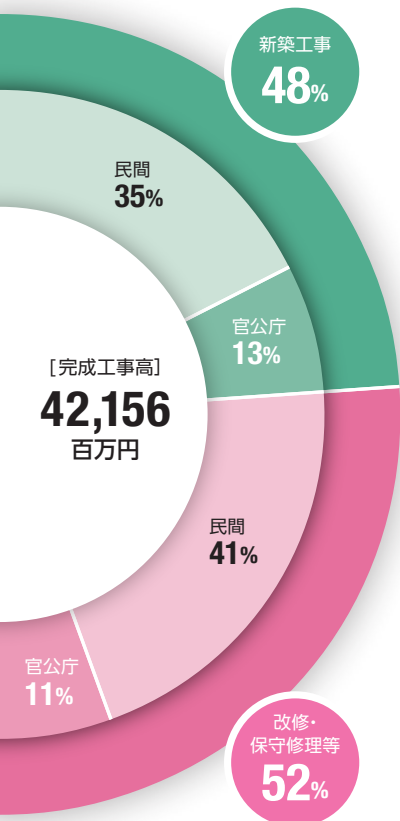
## 大成温調のビジネス

当社は、「総合たてものサービス企業」を目指し、長年培ってきた経験と技術力で多種多様な施設に携わっています。

主に「空調設備・換気設備」と「給排水衛生設備」の工事を行い、企画から保守・メンテナンスに至るまで、長期的なサービスを提供しています。

### ●完成工事高構成比

〔2024年3月期実績〕



### 空調設備・換気設備

空調設備とは、建物内の温度、湿度、気流、清浄度などを調節する設備であり、換気設備とは、室内の空気を入れ替える設備のことです。

大勢の人が出入りする商業施設やいつでも清潔な病院など様々な場所で使われており、それぞれの空間に合った室内環境に保つことで、感染症の予防や、快適性・生産性を向上させる役割を果たします。

建物に合った最適な設計、施工を行うことで、空気がきれいでも居心地良く過ごせる日々の暮らしを支えています。



### 給排水衛生設備

給排水衛生設備とは、建物内で給水、給湯、排水を行う機能を持った設備のことです。

蛇口をひねれば飲める水が出る、トイレがつかまらない、シャワーから温かいお湯が出るなど、日常生活において不可欠な水まわりの設備であり、適切に設置されることで、建物内を衛生的な環境に保つ役割を果たします。

建物に合った最適な設計、施工を行うことで、清潔で健康的な日々の暮らしを支えています。



## LIVZON STORY

たてものを「最先端の高度医療を叶える」いきものに。  
湘南鎌倉総合病院の「先端医療センター」。



## 地域に根付いた大型病院

1988年、鎌倉市山崎に「湘南鎌倉病院」として開院し、2010年に鎌倉市岡本に移転した「湘南鎌倉総合病院」。救急車の受け入れ数が1日あたり約60台にのぼる大型の病院です。新型コロナウイルスが流行しはじめた2020年には全国初のプレハブ型医療施設(神奈川県立臨時の医療施設)を開設して治療を行うなど、地域に欠かせない存在となっています。

施設名	湘南鎌倉総合病院
所在地	神奈川県鎌倉市
施工年	2010年*
工事区分	空調衛生設備工事

※先端医療センターは2020年



## POINT

## 高度な医療技術が発揮されるために

がん医療の強化を目的として作られた「先端医療センター」は、地上4階・地下1階建て。高度医療装置である陽子線治療装置、ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)装置などを備えており、先進的な放射線治療が可能です。

これらのシステムは、最先端の装置だからこそ特殊な対応が多く求められました。例えば、液体の温度をコントロールする機械「チラー」は、通常よりも高性能な、専用のものが使われます。また、水を純水にすること、流量温度圧力を正確に調整することなども必要です。高度な医療技術が発揮される環境をつくり上げるべく、度重なる検討が行われました。

## POINT

## 理想の環境をともにつくり上げていく

病院の工事は、何よりもヒアリングが大切。意見交換を何度も行うことで、理想の医療環境を実現していくのです。こだわりは廊下や踊り場などの空間にも。患者さんが安心して過ごせるよう、意匠に空調を合わせるための工夫が多く凝らされました。病院の空調衛生設備工事を数多く経験してきた大成温調だからこそできることがある一。医療現場の一助となれるよう、これからも丁寧な施工を続けていきます。

コーポレートサイトにも様々な施工物件を紹介しています。



## 働きやすい職場環境に向けて

当社では、中長期的な企業価値向上を図ることを目的として「就労環境改善による従業員満足度の向上」を目指しております。働きやすい職場環境に向けて人的資本への投資・還元を行い、すべてのステークホルダーにESGの付加価値を提供する企業として取り組んでまいります。今回は取り組みの一部をご紹介します。

### 65歳定年制度導入



#### 取り組み ▶ 65歳定年制度導入

##### 概要

定年年齢を60歳から65歳に引き上げます。年齢の引き上げに伴い、新たな給与体系を導入し、再雇用となった従業員には新制度に準じた形での待遇にて継続いたします。最大70歳まで再雇用する制度も導入いたします。

### ベースアップの実施



#### 取り組み ▶ 2024年度の初任給引き上げおよび賃金引き上げの実施

##### 概要

基本給を若手中堅を中心に平均約5.0%(10.33%~3.0%)のベースアップを実施いたします。それに伴い、初任給についても大卒初任給を250,000円(上げ幅:10.33%)へ改訂いたします。

### インセンティブ制度導入



#### 取り組み ▶ 従業員向け株式インセンティブ制度の導入

##### 概要

当社の従業員に対し、信託を用いた従業員向け株式インセンティブ制度を導入いたします。従業員のうち一定の要件を充足する者に付与するポイントの数に相当する数の当社株式が本信託を通じて当該従業員に対して交付されるという株式報酬制度です。従業員の株価への意識を高め、勤労意欲を向上させることが期待されています。



## TOPIC 1 令和6年能登半島地震による 被害への支援実施

当社は、被災地復興支援にお役立ていただくため、300万円を日本赤十字に寄付いたしました。加えて、継続的な被災地支援のため当社ウェブサイトを通じたクリック募金を実施。追加100万円を日本赤十字に寄付いたしました。温かいお気持ちをお寄せいただいた皆さまに、改めて感謝申し上げます。

## TOPIC 3 ビーチをテーマとした社会貢献活動「LIVZON BEACH PROJECT」をスタート

当社は、建築設備工事に関連する「水と空気」に着想を得て、社会貢献活動「LIVZON BEACH PROJECT」をはじめました。このプロジェクトでは、日本ビーチバレーボール連盟が行うSDGs活動への支援や、若いアスリートへの支援など様々な取り組みを行っております。

活動のひとつとして、日本ビーチバレーボール連盟によるビーチクリーン活動に社員とその家族が参加し、清掃活動を行いました。

## TOPIC 2 兼藤・愛知産業と共同で品川区に お米を寄贈

当社は、社会貢献活動の一環として、株式会社兼藤と愛知産業株式会社と協力し、品川区が行う子どもの食の支援事業にお米の寄贈を行っております。

当社としては今年度で3回目の寄贈となり、510世帯分のお米がひとり親家庭等に配布されました。



ビーチクリーン活動の様子(2024年5月5日)



## 株主アンケートご協力をお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから**2024年8月31日(土)まで**になります。

### アクセス方法



#### パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>

アクセスコード

1904

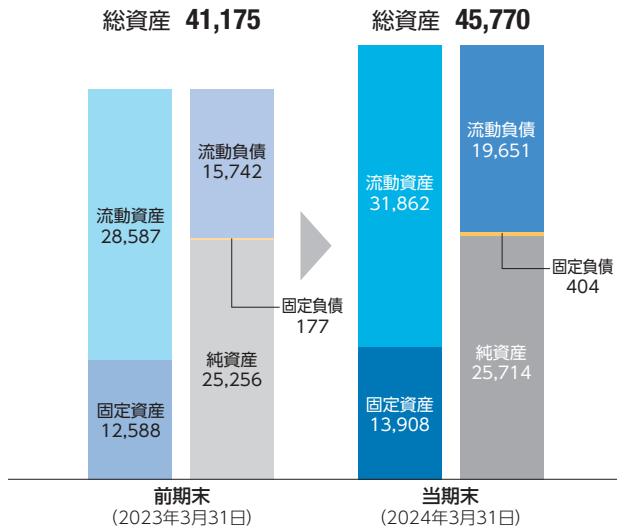


#### スマートフォン・携帯電話から

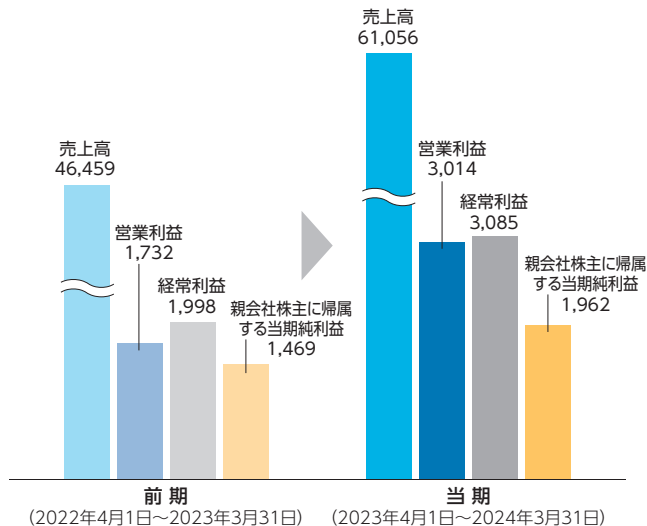
QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。\*携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。



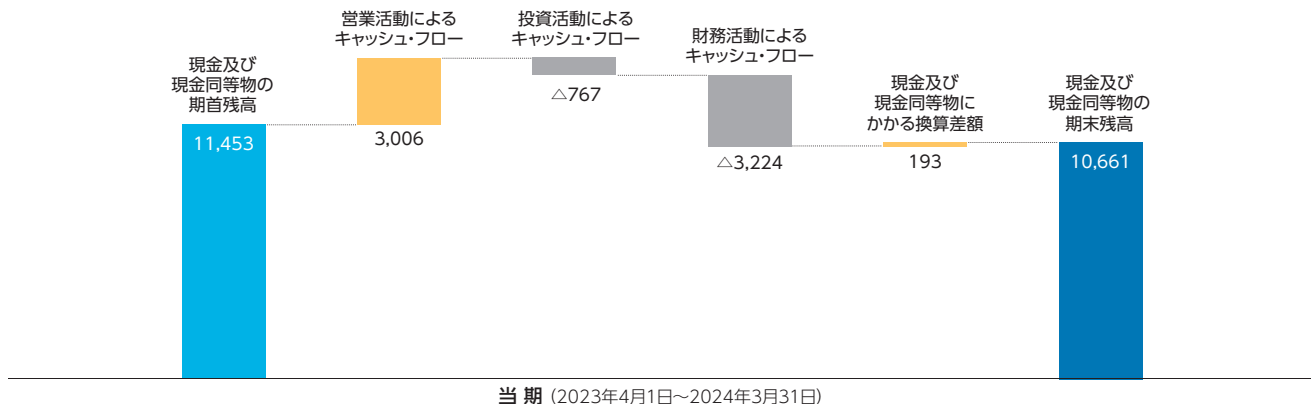
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	大成温調株式会社
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目49番10号
創業	1941年(昭和16年)4月3日
設立	1952年(昭和27年)12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
従業員の状況	580名

## 役員 (2024年6月25日現在)

代表取締役 社長執行役員	水谷 憲一
取締役 副社長執行役員	志田 憲彦
取締役 専務執行役員	玉置 雅幸
取締役 専務執行役員	川上 徹
取締役 常務執行役員	岡田 浩二
取締役 常務執行役員	富岡 幸光
社外取締役	大江 太人
取締役 監査等委員	今井 康之
社外取締役 監査等委員	大久保 和正
社外取締役 監査等委員	松下 香織
社外取締役 監査等委員	村木 高志

## ネットワーク (2024年4月1日現在)

本社・支店	8カ所
営業所	22カ所
サービスステーション(SS)	16カ所

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

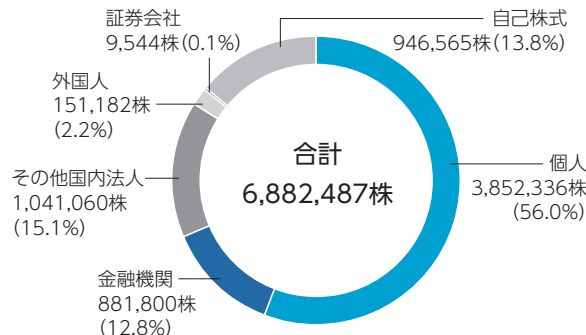
発行可能株式総数	27,500,000株
発行済株式の総数	6,882,487株
株主数	5,549名

## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アクアウェッジ株式会社	993	16.7
水谷日出夫	556	9.4
大成温調取引先持株会	513	8.7
一般財団法人大成温調奨学財団	313	5.3
大成温調従業員持株会	167	2.8
河村和平	89	1.5
東テック株式会社	70	1.2
河村昌平	59	1.0
和田ふみ子	54	0.9
株式会社オーテック	50	0.8

(注) 上記のほかに自己株式(946,565株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株主優待制度のご案内

### 株主優待制度の拡充

当社株式への投資魅力を向上させ、より幅広い株主様に投資いただけるよう2024年3月期より株主優待制度を**大幅拡充**いたしました。

#### ●制度拡充内容

所有株式数	優待内容(クオカード)	
	変更前	変更後
300~499株	3,000円	16,000円
500~899株	5,000円	30,000円
900株以上	10,000円	60,000円

※2025年3月期からは年2回の配当時期に合わせて、それぞれ変更後金額の半額のクオカードを配布いたします。

### 中間配当の実施

当社は、当社グループの中長期的な成長へ向けた事業展開や経営基盤の強化を図りながら、株主様への長期的かつ安定的な利益還元を行うことを重要な経営課題と考え、DOE3.0%を目処とする配当方針を定めております。

株主様への利益還元の機会を充実させるため、2025年3月期より中間配当を実施することといたしました。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-782-031 <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。 ただし電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

## 大成温調株式会社

本社 〒140-8515 東京都品川区大井1-49-10  
TEL : 03-5742-7301(代) FAX : 03-5742-4551  
<https://www.taisei-oncho.co.jp/>

